

山盛りの十七文字

ゝ俳句を楽しもうゝ

俳句と季語・季題

俳句は、五・七・五の十七音からなる短詩形文学（短い形の詩）であると言われています。五・七・五という形は、連歌の発句が独立したものです。連歌というのは、何人かの人々が、五七五、七七、五七五、七七というふうに順番に句を作っていくって、共同で一つの作品にしていくものです。その最初の五七五の十七音が発句と呼ばれるものです。連歌は共同で作るものですから、当然複数の人達が一つの場所に集まります。それを「座」と言います。座に一同が会して歌会を始めるとき、いきなり始めるのではなく、まず挨拶があります。発句はその挨拶の句です。挨拶には、今でもそうですが、かならず、季節のことが組み込まれます。それも、ありきたりのことではなく、その時の、その場にふさわしい季節感が盛り込まれていなければなりません。それが「季題」とか「季語」といわれるものです。

日本人と四季

日本には、春夏秋冬という四季があります。日本人は、はるか昔から、この四季の移り変わりとともに生きてきました。ですから、ほんの少し前までは、子どもの歌う童歌とか唱歌のほとんどに、季節の風物が詠みこまれていました。例えば、「どこかで春がうまれてる」「春がきた 春がきた どこにきた」「卯の花の匂う垣根に 時鳥早もきなきて」「きれいな花よ菊の花 白や黄色の菊の花 日本のおをかがる花 きよいかおりの菊の花」「垣根の垣根のまが

りかど たき火だたき火だ落葉^{おちば}たき」といったように。日本人は、自然にさからうことなく、四季のうつろいに身をゆだね、その中で感性や知性をみがいてきました。

俳句は、四季の中で生き、四季のうつろいを敏感^{びんかん}に感じてきた日本人だからこそ、生み出した、世界に類^{るい}を見ない優れた文学なのです。

『山盛^{やまも}りの十七文字』の使い方

三重県は、平成八年に開催^{かいさい}された第十一回「海の祭典」記念として、「海の一句」を公募^{こうぼう}し、それらの中の優秀^{ゆうしゅう}な作品を集めて『一句、ください』という本を公刊^{こうかん}しました。以後、毎年一冊^{さつ}ずつ、『芭蕉^{ばしやう}への手紙』『花の一句』『道の一句』『祭の一句』『空の一句』『遊^{あそび}の一句』『水の一句』『風の一句』『音の一句』『木の一句』を公刊してきました。この『山盛^{やまも}りの十七文字』は、それらの中の、小学生・中学生の句の優秀なものを選別^{せんべつ}して収録^{しゅうろく}したものです。それは、小学生や中学生のみなさんが俳句に親し^{した}み、自分たちでも作ってみようと思っしてほしいからです。小・中学生の句だけでなく、昔から名句とされているものも載^のせ、鑑賞^{かんしょう}文も書かれています。それによって、俳句の見方も学んでください。俳句を知ってもらうために最小限^{せうしんげん}必要なことがらも掲載^{けいさい}されています。掲載^{けいさい}の順番^{じゅんばん}は、公刊された年度にしたがっていますが、かならずしもこの順番に学習する必要はありません。どこでも、必要な部分だけをコピーして使ってください。この冊子^{さつし}が、みなさんの俳句に対する関心^{かんしん}を呼び起こし、日本人が大事にしてきた季節感を取り戻^{もど}すきっかけになってくれることを期待^{きたい}しています。

目次

俳句と季語・季題

日本人と四季

1

『山盛りの十七文字』の使い方

2

第一章 海的一句

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（海の句を作ってみましょう）

7

第二章 旅的一句

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（旅の句を作ってみましょう）

11

第三章 花的一句

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（花の句を作ってみましょう）

15

第四章	道の一句		19
-----	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（道の句を作ってみましょう）

第五章	祭の一句		23
-----	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（祭の句を作ってみましょう）

第六章	空の一句		27
-----	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（空の句を作ってみましょう）

第七章	遊の一句		31
-----	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（遊の句を作ってみましょう）

第八章	水の一句		35
-----	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（水の句を作ってみましょう）

第九章	風の一句		39
-----	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（風の句を作ってみましょう）

第十章	音の一句		43
-----	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（音の句を作ってみましょう）

第十一章	木の一句		47
------	------	-------	----

名句鑑賞

子どもの俳句から

創作（木の句を作ってみましょう）

第十二章	三重の句碑めぐり	51
------	----------	----

第十三章	句会	55
------	----	----

句会とは

句会の方法

当季雑詠以外の句会

句会を楽しみましょう

第十四章	松尾芭蕉	58
------	------	----

〈コラム〉 季題・季語7

題詠（席題・兼題） 15

字余り 23

自然と生き物 31

季語と季節の不一致について 39

省略について 43

俳句と川柳について 11

写生と説明 19

「切れ」と「切れ字」について 27

文語と口語 35

歳時記について 39

比喩について 47